

県医活動報告

令和5年度女性医師支援・ドクターバンク連携 九州ブロック会議

日 時 令和5年9月30日(土) 14時
場 所 ホテルニューオータニ佐賀
報告者 常任理事 貞永 明美

美川佐賀県医師会常任理事の司会により、志田佐賀県医師会副会長から開会。

担当県の松永佐賀県医師会会長、濱口日本医師会常任理事、角田日本医師会副会長／女性医師支援センター長（ビデオメッセージ）、神村日本医師会常任理事（Web参加）の挨拶に続き、報告・協議に入った。

1. 開会
2. 挨拶
3. 報告・協議事項
 - (1) 日本医師会女性医師支援センターからの報告
 - (2) 各県医師会からの報告
 - ①各県医師会医師バンク取組報告（実績含む）
 - ②各県医師会における女性医師支援の取組
（特に医師の復職・再研修の取組や支援体制について自治体や大学との連携含む）
 - (3) 佐賀県行政担当者より女性医師支援の取組みについて報告
 - (4) 次年度開催担当県の選出
4. 閉会

(1) 日本医師会女性医師支援センターからの報告

日本医師会 常任理事 神村 裕子

平成9年度より職業紹介事業として開始。利用料は無料で男性医師、非会員にも対応。

また、女性医師バンク事業・キャリアパス・再就職支援（講習会）などの事業を説明。

今後、検討すべき課題として①医療機関、医師会の体制整備②柔軟な勤務形態③復帰時研修④チーム医療体制⑤院内保育の更なる充実⑥シニア医師の活躍の場の拡大⑦働き方のデザインを挙げた。

(2) 九州各県医師会からの報告

①各県医師会医師バンク取組報告（実績含む）

②各県医師会における女性医師支援の取組

【宮崎県医師会】

平成16年より医師協同組合が県医療政策課と協同し「みやざきドクターバンク」を開始。

大学・自治体と連携のもと、医師の復職支援を宮崎県委託事業として、宮崎県医師会が実施。
(令和5年7月11日現在保育サポート会員37名。女性医師等利用会員総数74名)

【沖縄県医師会】

医師確保支援として、ホームページや会報による広報活動、県ドクターバンクを実施。

また、女性医師支援として就労支援相談窓口事業を平成26年より沖縄県からの委託事業で実施。
大学病院における女性医師、研究者のキャリア教育の困難さを解決するためには、医師の待遇改善であり、医師会の協力が必要。

【大分県医師会】

女性支援の取組として、キャリアサポートブックの改訂、また、プログラムを含めた提示をおこない、院長からの応援メッセージを掲載するなど内容を充実させた。

また、大分県男女共同参画委員会内で話題となったことから、病児保育に関する実態調査を実施。今後は、この活動に対する当事者評価をアップデートしていく。

【長崎県医師会】

勤務する医師側への支援として、子育てとキャリアの両立支援サポート、子育てから一段落した世代のキャリア形成サポート、60歳以上の本当の再就労支援という世代別支援の検討が必要。

また、長崎県、長崎大学、長崎県医師会が共同して女性医師支援を行う「長崎あじさいプロジェクト」は長崎県が長崎大学病院に委託し、m-WLBセンター（メディカルワークライフバランスセンター）を設立。長崎県医師会とも協議・連携し、m-WLBセンターが橋渡役を担い、研修や再就職支援を実施。その一例として、大学でアンコンシャスバイアス等について授業を開催。
なお、地域枠の女性医師の離脱が多いため、サポートが必要。

【福岡県医師会】

福岡県医師会ホームページからドクターバンクにリンクを貼付し仲介している。

また、県内4大学、福岡県、福岡県医師会、郡市医師会が連携し、女性医師支援、女性医師サポートブック、PasaPas（パサパー）の出版、地域懇談会、医学生との交流、研修会等を実施。

【熊本県医師会】

熊本県医師会では、医師会報で求人情報を掲載。

また、熊本県が女性医師及び子育て医師支援事業として、熊本大学病院に委託し、女性医師支援事業（予算4,083,000円）や復職支援事業（予算3,219,000円）を実施。

なお、一時保育事業は熊本市医師会に委託（予算2,778,000円）。

さらに、復職希望医師と留守番を希望する医療機関をマッチングする「お留守番医制度」や、学会等の出張時支援として無料で一時保育が利用できる支援を行っている。

【鹿児島県医師会】

ドクターバンクは医師協同組合が運営しているが、鹿児島県医師会人材バンク（医療従事者無料職業紹介所）は、登録後に無料で利用可能。

女性医師支援は県行政と協力し、復職支援サポートとして指導医のもと研修するプログラムを作成、研修をおこなっている。

また、会員医療機関での支援体制や、鹿児島大学医学部卒業時に鹿児島県医師会よりお祝いメッセージを送っていることを紹介。

【佐賀県医師会】

佐賀県医師会では、女性医師の状況とニーズを把握するため、アンケート調査を実施。

子育て中の女性医師の気持ちや子どものいない女性医師が感じている不公平感、女性医師全体が職場に求めていることを発表。

また、医師会の感想を求めたところ、イメージ回答が多かったため、医師会を知る機会を設けることが必要。

(3) 佐賀県行政担当者より女性医師支援の取組みについて報告

佐賀県健康福祉部医務課 医療人材政策室 室長 前山恵士郎

佐賀県女性医師等就労支援事業として、国の補助を活用し「SAGA JOY」を実施。

相談窓口を設置し、一年を通じ10～20件の相談に応じている。内容としては、復職支援（2～3名／年）や就労環境改善（2～3施設／年）など。

以上の報告から、①家庭内の男女共同参画への働きかけ②離職率を下げるための長時間労働の改善、当直などの就労環境整備③キャリアアップ維持のための知識や技術取得の支援④家事・育児サポート体制整備（学童保育・保育の時間延長）⑤医師会全体のワークライフバランスの問題が挙がり、今後の更なる取り組みの課題とされた。